

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 本村 強

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和 7 年第 4 回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 令和 8 年度 予算編成方針に ついて	【趣旨説明】国においては、石破政権から高市政権へと交代し、公明党が連立離脱した後を受けて日本維新の会と新たな連立を組み、内憂外患の諸課題に対して取り組みを始めているところであります。連立政権においてもなお、少数与党であることは変わらず、野党の要求を飲まざるを得ないという状況です。ガソリン、軽油の暫定税率の撤廃は実施に移行中ではありますが、地方自治体にどのような影響が出てくるかは、これからの課題であります。 さて、鳥羽町長から発出された「令和 8 年度予算編成方針について」の内容を読み、本町の財政状況見通しが、今後 5 年間で急激に悪化していくという想定に驚きを隠しきれません。その原因として、年々低下していく償却資産の実情、少子高齢化による扶助費の増加、建設・修繕費の高騰、人事院勧告による職員人件費の高騰などが挙げられております。 R12 年度までの財政調整基金の見込みで「これまでの町政で変えられるタイミングはあった」とも言われています。また「今こそが武豊町を立て直す最後の機会」、「全職員と危機的状況の意識共有化で財政を立て直します。」との決意も述べておられます。大いに期待したいところでございます。 この難しい局面において、「町長が変わったタイミングでしかできない」改善提案で乗り切りたいという趣旨の以下の項目についてお尋ねをいたします。 【質問事項】 ①「ピンチは最大のチャンス」として、「既存事業の廃止・縮減、新規事業の開始を進め、住民サービスも向上させながら、R 8 年度でも既存事業を見直し業務を進めながら、R 9 年度には全事業の見直しが必要である」とありますが、R 8 年度の見直し、R 9 年度の全事業見直しは第 6 次総合計画の後期計画にも影響すると考えていいのか。 ②「将来の負担を考えなかった箱物行政による公共施設の維持費も、大きな財政負担となっている。公共施設の統廃合、複合化を進めていきながら、維持費を下げながらも、これまで以上の便利な公共施設にしていく。」とあります。現状の施設の統廃合・複合化をどのように考えておられるのか。 ③持続可能な武豊町としていくために、「AI（人工知能）」、「DX（デジタルトランスフォーメーション）」のデジタル技術の活用で業務効率化、スマート行政を目指すとして、「日本で一番 AI・DX を活用する町」を重点目標に掲げています。AI の導入目的が人員削減や残業抑制という手法になってはならないと思うが、どのように考えておられるのか。 ④予算編成方針の中で「外部人材の活用や民間手法の積極的に取り入れる」とうたっている一方で、明確な根拠のない業務委託については事務の内製化を進めると書いてあります。一見、矛盾も感じますが、どのように考えているのか。 ⑤「行財政改革」として、まずは「既存事業を見直し、廃止、縮減事業の検討」とあります。今後の武豊町に必要と考える行財政改革の内容についてどう考えているのか。

